

「あなた」を大切にする「心のふるさと“パリ日”」  
祝 開校50年 日仏文化学院

# パリ日本人学校

教育目標



明るく  
仲よく  
たくましく

令和4年度 学校だより  
第14号 3月17日発行

## 祝・第50回卒業証書授与式 厳かに終了 3/10(金)

～小学部15名・中学部5名の卒業生に幸あれ！～

在フランス日本国大使館安東公使、西澤宏章理事長をはじめ、多くのご来賓と保護者の皆様のご臨席をいただき、本校にとって節目



となる第50回目の卒業証書授与式がコロナの影響もなく無事に終了しました。主役の卒業生の態度はもちろん、送り出す在校生もすばらしい態度で臨み、厳粛な中にも感動のある式となりました。

校長からは式辞の中で次のようなことに触れました。本校は日本国内と同等以上の教育を行い、「世界で活躍するグローバル人材の育成」を目指して日仏の文化交流や相互理解を大切にしている中で、卒業生は小学部の、または、中学部の、パリ日の「顔」として、児童会や生徒会活動を中心に、今日まで下級生をよくリードしてくれたこと。運動会やパリ日発表会などの大きな行事で、何事にも挑戦しようと努力する姿や、下級生に対する優しいお兄さんお姉さんぶりが、皆の心にしっかりと刻まれ、「あこがれ」や「感謝」、「尊敬」の気持ちとして膨らんでいるのではないかということ。

そして、卒業生へ贈る三つの言葉として、「立志・挑戦」「困難こそ喜びをもたらす」「パリ日50年の絆」を紹介しました。

パリ日は、これまでも、そして、これからもずっと、「心のふるさと」として「あ・な・た」を大切にする学校です。卒業生の皆さんが、今後さらに成長し、世界に向けて羽ばたく人材となっていくことを、心からお祈りしております。このたびのご卒業まことにおめでとうございます。



## 心のこもった「6年生を送る会」実施！ 2/28(火)

卒業式に先立ち、5年生を中心とした在校生が「6年生を送る会」を企画しました。小学部1年生から5年生まで、クラスごとに工夫した発表を行いました。これまでの学習発表会や「提言フォーラム」で身に付けた力をしっかりと発揮していました。



送られる6年生も、一緒にゲームに参加して楽しんだり、ステージ発表に見入ったりして、たいへん満足していました。手作りの心のこもった「6年生を送る会」、卒業式前のパリ日の伝統行事としてこれからも続いていくといいですね。

## 中学部「音楽祭」実施！ 3/2(木)



中学部の生徒による「音楽祭」が開かれました。サンカタン校舎に移転して以来、30年以上続いている音楽科のイベントで、ここ数年はコロナのために録画した画像をクラスごとに視聴する形だったとのこと。音楽室を会場として、久しぶりに観客(中学部生徒と先生方)を入れた開催となりました。

バンドによる演奏や歌が披露され、中学部生徒の多彩な一面を見ることができました。「音楽＝音を楽しむ」という言葉がぴったりの時間となり、出演した生徒一人一人の笑顔が印象的でした。

## 小学部2年生 モンティニー市「まちたんけん」へ 3/8(水)

2年生がモンティニー図書館とそのまわりの商店街へまち探検に出かけました。フランスの図書館に入る



経験が初めての児童も多く、二人の図書館の館員の方に施設内を案内していただきながら、どんな本がどのように並べてあるのかを知りました。質問コーナーではたくさん手が挙がりました。

サンカタンの商業施設は、初めて見学する児童が多く、新しくできたスポーツ施設などに驚いでいました。家族で来たいという声も聞かれました。さすがにもうすぐ3年生となる児童たちは、行き帰りの徒歩の移動中も列を守り、安全に気を付けていて、今年度最後の見学を立派にしめくりました。

## サンシャルルノートルダム中学校との交流会 3/15(水)

～ 中学部2年生のおもてなし満開！～

今年度最後になる交流会が無事終了しました。中学部2年生が先生方と総力を挙げてのおもてなしをしてくれました。校長による「日本文化紹介講座」の後、藤井先生の書道教室では「日本」を楷書で書きました。



その後、調理実習では照り焼きチキンとおにぎり、味噌汁を一緒に作って食事もしました。午後は「日本文化体験コーナー」として、日本のサブカルチャーや折り紙、音楽等を体験してもらいました。どの取り組みにも素晴らしい工夫が見られ、中学部2年生の、笑顔でいながらも真剣なおもてなしの姿がありました。バスホールで見送る際、ノートルダム校生徒の満面の笑みが本日の交流会を物語っていたように思えます。中学部2年生の皆さん、良い伝統を築いてくれたことに心から感謝します。



## 退職職員・帰国教員あいさつ

### 【令和4年度末 退職職員】

○事務官 東山克之 私事でございますが、2023年3月31日をもって定年退職を迎えることとなりました。皆様には今までご指導をいただき、大変感謝しております。パリ日の児童生徒さんたちから頂いた笑顔が私の宝物です。今後も皆様からご指導いただいたことを大切にしてこれからも頑張っていきたいと思っております。若い皆様で今後もパリ日本人学校を盛り上げていってもらうことを願っています。長きにわたり本当にありがとうございました。

### 【令和4年度末 帰国教員】

○教頭 酒井正彦 日本で定年退職後、再び教壇に立ちたいという願いが叶いパリ日本人学校に赴任することができました。この3年間は、コロナの影響で普段とは異なる教育活動を強いられ、通常実施していた教育活動が行えなかつたりして大変でした。しかし、授業をしていて、子供たちの笑顔を見ると、自分が教員をして良かったと思えてなりません。教員としての仕事を全うする舞台がパリ日本人学校で良かったと思っています。子供たち、保護者の皆様、そしてこの3年間に関わっていただいた全ての皆様に、感謝申し上げます。ありがとうございました。

○教諭 石黒 豊 パリ日本人学校はどのような学校だろう?と、期待を膨らませて赴任しました。今ではパリ日がとても大好きになり、「パリ日から離れるのか」と不思議な気持ちを抱いています。令和3年度の卒業式、そしてUNESCO職員の方に世界遺産候補を提案したプレゼンテーション、忘れられません。これまで大変多くの方々にお世話になりました。関わったすべての人たちに感謝しております。ありがとうございました。

○教諭 鈴木 勲 私がパリ日本人学校で過ごした3年間は、日本では経験しないことが目白押しで、子供たちと保護者の皆様の協力と理解なくしては、何事も立ちゆきませんでした。指導する側の私が、このよき環境下で、よく学ばせてもらいました。帰国が近づくにつれ寂しさが募り、なかなか思うように話せなくなる日々でした。私はこのパリ日が大好きです。3年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。これからよろしく願います。

○教諭 貴島 涼平 パリ日本人学校での生活を支えてくださった皆様にお礼を申し上げたいと思います。大変お世話になりました。渡仏した2020年はコロナ禍最盛期で提言フォーラムもウェブ会議システムを用いて実施したことを記憶しています。学校生活の制限を見直しながら試行錯誤した日々は、わたしにとって貴重な経験となりました。皆様との出会いの中でいただいたご指導、ご助言を生かして帰国後の教育活動を充実させていきたいと思います。

○教諭 其田由貴子 令和3年度から2年間、大変お世話になりました。毎朝バスから降りた途端、「おはようございます」と元気な声が響き渡っています。「私も今日1日、頑張るぞ」と元気をもらっていました。素直で優秀な子ども達と温かい保護者の皆様のおかげで、大過なく2年間パリ日本人学校で過ごせましたこと、心より御礼申し上げます。帰国してからもまたどこかでお目にかかれることを願っています。お元気で。さようなら。

○教諭 原田祐子 パリ日本人学校で過ごした3年間は、私のかけがえのない宝物となりました。毎日、笑顔で「おはようございます。」を言い、元気に登校する子供たちにたくさんのエネルギーをもらいました。そして、いつもあたたかく見守ってくださる保護者の皆様のご協力のおかげで、充実した日々を送ることができました。私は、パリ日本人学校が大好きです。今後のパリ日本人学校の一層の発展をお祈りしています。ありがとうございました。

🌸この1年間たいへんお世話になりました。皆様のご支援ご協力に感謝を申し上げます。次年度、開校50周年行事等も控えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。パリ日本人学校長 伊藤 博

